

日程	平成29年10月16日(月)	
視察先・視察内容	静岡県藤枝市	スポーツ推進計画について

藤枝市 サッカースポーツ少年団発祥の地であり、J3サッカーチームを始め、男女ともに全国レベルの高校サッカーチームがある。藤枝市出身の日本代表サッカー選手を数多く輩出しており、サッカーを中心としたまちづくりが行われている。2016年には国際観光ホテルがオープンし、東海道の宿場町の歴史資源と周辺地区の自然環境、都市機能を備えた中心市街地と、バランスのとれたまちである。



視察内容 **藤枝市スポーツ推進計画2016-2020**

2017実績 ①生涯スポーツの推進
・取り組み

・未来を創る藤枝スポーツ保育事業
静岡産業大学と連携し、幼児体力測定データのデータをもとに、藤枝市独自の運動プログラムや改善プログラムを実施。その後の子どもの様子・行動の変化等をアンケート調査し、評価をもとに今後の取り組みにつなげている。

・子ども体づくり事業
体づくりの大切さを親子で学ぶことを目的に子育て世代を対象にイベントを開催。理学療法士の姿勢を改善する講座など、運動・遊びの機会の充実だけでなく、民間との連携した取り組みにより、最新の体づくりの情報が得られる。

・スポーツイベント開催事業
スポーツ&健康フェスタ・リパティ駅伝・ふじえだマラソン等のイベントが実施されているが、マンネリ化しつつあるイベントは改革をし、市民ニーズ把握のための実態調査を常に行い運営の実施をしている。

②競技スポーツの推進

・東京オリンピック・パラリンピック関連事業
イタリアのサッカー、ライフル競技の合宿誘致活動やイタリア柔道チームの強化合宿を実施。双方の継続的な人材育成や文化交流を図る。また食を通じた「イタリア選手団」歓迎の情報発信等のムーブメント醸成事業を実施。

・ジュニアアスリートマルチサポート事業
指導者・保護者を対象とした講座の開催。メンタルトレーナー・ケガへの対応・栄養等から実技指導として走り方講座は子どもも参加。(ジュニアとは小学生世代を指す)

③スポーツ施設等の利便性の向上

・地域のスポーツ環境整備の推進。中長期整備計画を策定し事業を実施。



計画の位置づけ

「藤枝市スポーツ推進計画」と「サッカーのまち藤枝ドリームプラン」、「元氣藤枝健やかプラン」、「藤枝市観光交流基本計画」との整合性を図りながら、施策を具体化している。スポーツで活力あるまちづくりのために、楽しみ、感動、支え合い、元気をキーワードにすべての市民にスポーツを推進計画の核としている。

全国イベント

- ①全国PK選手権大会の開催
全国より400～500チーム(5000人超)参加。2日間開催。
- ②全国シニアサッカー大会(年代別)の開催
全国より30チーム参加。
- ③自治体職員サッカーシニア大会
男子40歳以上、女子年齢問わずで混合チーム可で開催。



藤枝総合運動公園



野球場



サッカー場(J対応)



四種陸上競技場



人口芝多目的広場
(クレー広場併設)



天然芝グラウンドゴルフ場

所感

サッカーを知る人なら誰もが知っている高校チームやサッカー日本代表選手を排出し、サッカーを核としたまちづくりを進めている中で、子どものスポーツ機会の充実・ライフステージに応じたスポーツ活動の推進・スペシャリストの育成資質の向上・地域スポーツ環境整備の推進の基本施策がある。

幼児期から高齢者まで様々なスポーツ活動に対する取り組みがなされ、ウォーキングアプリ(健康増進課)の開発により、各課連携による歩いて健康づくり推進事業も行われている。市外から参加者が集まる各種大会には地域資源を生かした観光商品の提供や宿泊施設等の情報発信につとめている。商業観光課との連携によるスポーツ合宿やコンベンション等で市内宿泊の場合の宿泊費一部助成は来訪と交流人口の拡大を実現している。

なぜまちづくりにスポーツかという問いに対し、いくつかの理由がある。

- ①スポーツが健康と結びついている。健康増進には体を動かすことが重要である事。
- ②スポーツには普遍性がある。ルールに基づき言語とは違い、世界共通のコミュニケーションが可能である。スポーツを通じて持続的に人とのふれあいがある事。
- ③スポーツには「する」だけでなく、「観る」楽しみがある。音楽にもこの要素はあるが、初心者からプロに至るまで、レベルにあわせて参加でき、自分の体力や好みによってスポーツ選択し参加できる。またボランティア等「支える」という参加もスポーツならではの特徴といえる事。等の理由が考えられる。

スポーツは、地域代表や地元代表が活躍すると選手とともに地域・市民が盛り上がり、地元への帰属意識を強く意識させ、岡崎市を誇りに思うという気持ちを生み出す。

岡崎市民のスポーツ実施率は他市と比べて高い。健康や楽しみのためにスポーツを選択する市民が多いことをふまえ、今一度本市のスポーツでまちづくりの方向性を考えていきたい。施設面では人口芝グラウンド・室内競技用プール・天然芝グラウンドゴルフ場またインドアで小スペースでできるスポーツの施設などを主要駅周辺に整備するなど、現在ある施設の利活用を高めることと併せて、新たな整備計画の必要性を提言していきたい。

人の交流を活発化させるため観光都市岡崎市のひとつのテーマとしてスポーツを提案し、また個人の健康促進や生きがいにおいてもスポーツの重要性を再認識し、地域(まち)の世代を超えたコミュニティーの強化にもスポーツの必要性を考えて、提言・要望を続けていきたい。